

# つどい

## 宮崎県偕行会 平成28年度慰霊祭と総会

宮崎県偕行会は、毎年県戦没者等の慰霊祭と総会を同日におこないます。

本年は、6月4日でした。

### 一 慰霊祭

慰霊祭は、宮崎県護國神社にて眞方侃熊幼48が祭主となり、御祭神4万1千

874柱（戦没者4万1千820柱、自衛隊殉職者54名）に対し、雨のなか社理事廣瀬誠氏、宮崎地方協力本部長、第24普通科連隊長、第5航空団管理部長、空自第13警戒群司令、海自えびの送信所長、宮崎県隊友会長他の来賓と当会会員6名の参加を得て、斎主の祝詞のもと昇殿参拝して主串を奉奠し、厳かに行われました。

### 二 総会

総会は、会場を移し、来賓として、宮崎県会議員2名、第43普通科連隊長を迎え、会員19名、計32名にて開催されました。総会は、西田 實副会長陸自59の開会の辞、国歌斉唱、年度中の7名の物故者に対し黙祷を捧げ、来賓紹介、自衛隊西部方面総監と第8師団長からの祝電披露後、活動報告、収支決算、監査報告、28年度計画予算が提案され、承認されました。

### 三 記念講演

偕行社理事廣瀬 誠氏陸自73を講師に招き演題「自衛隊を取り巻く課題」について、有意義な講話を頂きました。本講演には、岩元光男副会長陸自66の尽力により自衛官5名、社会人15名の参加を得、盛大となりました。

### 四 陸自音楽部の演奏

都城駐屯地音楽部を中心に、国分駐屯地音楽部と合同の音楽隊が行進曲や戦時歌謡を演奏し、陸軍及び航空士官学校校歌の大合唱となり、大変好評でした。

### 五 懇親会

懇親会は、県隊友会長の乾杯で始まり、来賓及び会員による意見発表等のもと、特別参加の原口 勝氏から、大東亜戦争末期、硫黄島守備隊長栗林忠道中将の訣別の電報の写しが全員に配布され、日本軍将兵の敢闘ぶりを偲びました。

### 六 その他

本年度は、元自衛官の入会があり、今後についての明るさを感じられました。

（文責 事務局長 竹之下憲弘陸自57）